

社会福祉法人 優心会
小規模多機能型居宅介護事業所かのん サービス評価
【平成30年度】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 29 日 (17 : 00 ~ 17 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 増淵、福田、手塚、下村、大貫、羽山、遠藤、鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	5 人	2 人	0 人	8 人

前回の改善計画
・利用開始前は基本情報の回覧が主となっているので必ずミーティングを行い職員間で情報を共有した上で受け入れを行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・個別でのミーティングは実施できなかったが、ケース会議や申し送りなどを通して情報共有を図った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	7	1	0	8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	6	0	0	8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	3	1	0	8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6	1	0	8

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の基本情報を書面で回覧し職員間で情報共有を図った。
・利用に慣れていない時は本人の表情に気を配り静かにゆっくり話すなど配慮している。
・朝のミーティングで本人や家族のニーズに対する話し合いを介護支援専門員が中心となり共有する機会をつくることできた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・相談から利用開始までに情報収集が間に合わず職員への伝達が円滑に進まないことがあった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・利用開始前は基本情報の回覧が主となっているので朝のミーティングとは別な機会をつくり職員間で情報を共有した上で受け入れを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月29日 (17:00 ~ 17:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 増淵、福田、手塚、下村、大貫、羽山、遠藤、鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	4人	人	8人

前回の改善計画

- ・新人職員を中心にケアプランについての理解を深める説明 (研修等) を行う。
- ・ケアプラン回覧用のファイルを作り職員が本人の目標を確認しやすい環境を整える。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・個人ファイルは整理されており職員がケアプランを閲覧できる環境は整っている。ケアプランについての内部研修は実施できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	4	3	0	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	2	0	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	3	4	0	8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	5	2	1	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人とのコミュニケーションの中から把握できる要望を実際の支援に繋げることができた。
- ・本人からの意見をできる限りケアプランに反映できるように努めた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本人の目標に対する理解が不足していた。
- ・意識的に本人の情報を取得するような動きが取れていなかった。
- ・本人の意志よりご家族の希望を尊重してしまう事が多かった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・全職員を対象にケアプランについての理解を深める説明 (研修等) を行う
- ・職員個々が本人のニーズを把握できるように努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月29日 (17:00 ~ 17:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 増渕、福田、手塚、下村、大貫、羽山、遠藤、鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	2人	人	8人

前回の改善計画	・以前の暮らし方を把握するため、職員が本人との会話の中で取得した情報（今までの生活歴、好み等）をケアプランに書き込み職員間で情報の共有を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職員間の口頭での伝達になってしまい具体的に記録で残すことがあまりできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	5	2	0	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	3	4	1	8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	4	2	2	0	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	3	1	0	8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	5	1	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・本人のバイタル測定や日々の様子を観察することで健康の変化に気づけるようにしている。 ・体調不良時などには食事形態を変更するなど柔軟に対応できるように努めている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・本人の以前の暮らし方や生活環境の把握まで理解を深める事ができなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・本人の暮らし方や人柄を把握できるような表を作成し職員それぞれが取得した情報を書き込んでいくことで情報を共有する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月29日（17:00～17:30）

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 増渕、福田、手塚、下村、大貫、羽山、遠藤、鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	7人	0人	0人	人

前回の改善計画
・連絡帳を活用して家族から本人の生活スタイルや自宅での過ごし方について情報収集を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
・ご家族と事業所間で連絡帳のやり取りを行っているが日常的な連絡事項が主になってしまい自宅での過ごし方を細かく確認できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	4	3	0	8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	4	2	0	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2	2	3	0	7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	2	6	0	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・アセスメントの段階で本人を理解できるように努めた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・民生委員や地域資源の把握ができていない。
・事業所で関わっていない時の本人の状況、過ごし方を把握しきれていない。
・家族、介護者や地域との関係性が切れないような支援までは踏み込めていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・本人の生活スタイルや人間関係についてアセスメントの段階でチェック項目として確認するようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月29日 (17:00 ~ 17:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 増渕、福田、手塚、下村、大貫、羽山、遠藤、鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	3人	0人	8人

前回の改善計画	・小規模多機能型居宅介護の理解を深める事ができる研修会への参加、事例検討会の開催等で職員個々の柔軟性を高めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・小規模多機能型居宅介護の研修会には参加することができなかった。事例検討会についても実施できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	5	3	0	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	7	1	0	8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	4	2	0	8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	4	2	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービス等の活用。 ・ケース記録や申し送り、職員会議を通して本人の変化に対する共有を図っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・支援が画一的になりがちで柔軟な支援が行えていない。 ・申し送りにて詳細な状態の変化が見落とされがちだった。 ・本人より家族の希望が尊重される傾向もあり全ての利用者が妥当適切なサービスとは言えない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・職員個々が小規模多機能型居宅介護の柔軟性を理解できるように参考資料の配布や定期的に意見交換ができる機会を設けていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月29日（17:00～17:30）

6. 連携・協働

メンバー 増淵、福田、手塚、下村、大貫、羽山、遠藤、鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	5人	2人	0人	8人

前回の改善計画	・自治体と更に協働していけるようにアプローチしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・運営推進会議や地域主催のお祭りに参加するなど連携が図れた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	1	5	0	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	5	1	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	5	1	1	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	2	2	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地元の小・中学生と定期的に交流会を行った。 ・かかし祭りなどに出品し地域活性化のイベントにも参加することができた。 ・認知症サポーター養成講座を手伝うなど地域包括支援センターと連携が図れた。 ・施設行事（花火）に近隣の子供が参加した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域各種機関との連携が積極的に行えなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域の各種機関・団体の活動へ積極的に参加するとともに自治体と協働していけるようにアプローチしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月29日(17:00～17:30)

7. 運営

メンバー 増淵、福田、手塚、下村、大貫、羽山、遠藤、鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	2人	2人	8人

前回の改善計画	・介護相談会や認知症サポーター養成講習を事業所で開催するなど地域に必要とされる拠点となれるような取り組みを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・日程等は検討していたものの実施に繋げることができなかったが、地域包括支援センターのサポートとして学校や企業向けの認知症サポーターに参加した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	1	5	0	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	0	0	8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	2	2	1	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	2	4	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人や家族からの苦情には迅速に対応できるように心がけた。 ・定期的に職員面談等を行っているので個々の職員が意見を言える機会(雰囲気)はある。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所で介護相談会や認知症サポーター養成講座を開催することができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・事業所(かのん)で介護相談会及び認知症サポーター養成講座を開催する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月29日（17:00～17:30）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 増淵、福田、手塚、下村、大貫、羽山、遠藤、鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	4人	3人	0人	8人

前回の改善計画	・ヒヤリハット報告書の様式を簡略化し些細なことでも職員が報告書を提出しやすい環境を整える。
前回の改善計画に対する取組み結果	・既存の「事故報告書」の様式が職場内で浸透しており、新たな様式を作成するには至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	0	6	2	0	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	2	0	8
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	4	1	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	5	3	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・研修に参加する機会は作ることができている ・業務中に職員、利用者の転倒リスクを軽減するために危険な場所にステッカーで注意喚起するなどのリスクマネジメントに取り組んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会に参加していない。 ・職場内研修について、職員の時間確保（変則勤務のため）が難しく参加人数が安定しない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ヒヤリハットを申し送り帳やケース記録に記入するなど手続きを簡略化することでたくさんのケースが出るように努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月29日 (17:00 ~ 17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 増渕、福田、手塚、下村、大貫、羽山、遠藤、鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	5人	1人	0人	8人

前回の改善計画	・身体拘束、虐待についての啓発、研修会等を定期的実施していく。また、虐待と疑わしいグレーゾーンや不適切ケアについても着目していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・身体拘束等についての資料を回覧し啓発を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	2	5	1	0	8
②	虐待は行われていない	6	2	0	0	8
③	プライバシーが守られている	6	2	0	0	8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	6	2	0	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	5	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・福祉用具を活用することで身体拘束をしない介護を実践している。 ・新たにパーテーションを購入するなどプライバシーの確保に努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度の活用事例がない。 ・身体拘束についての理解が職員個々で認識に違いがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・身体拘束や虐待に対しての参考資料を定期的に回覧することで意識向上に繋げる。 ・身体拘束・虐待についての事例検討や研修を実施する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人優心会	代表者	毛塚 徹	法人・事業所の特徴	当施設は旧栗野町の保健センター跡地で運営をしております。施設周辺には郵便局や交番、学校などの公共機関があり、比較的利便性のよい場所に位置しております。また、河川や山など自然環境に恵まれて、ゆったりと穏やかなサービスを提供している施設です。
事業所名	かのん	管理者	増渕 浩志		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	人	1人	人	2人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	年度途中での改善計画の達成状況を確認する機会を設けるなど職員が計画に対して常に意識ができるような対応を行う。	改めて計画の確認をする時間が作れなかった。		年度の途中で改善計画を確認できる機会をつくっていくことで職員が計画に対して意識できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	玄関が東側に位置し日中は日差しが当たらず暗い雰囲気になってしまうので、玄関照明の見直しやポーチに鉢花を置くなど環境整備を行っている。	フロア照明をLEDに交換した。玄関前に季節の鉢花や正月には門松を飾るなど明るい雰囲気が出るように努めた。	フロア照明がLEDになったことで、雰囲気が明るくなった。	玄関前に季節の鉢花を置くことは継続し、玄関の家具や下駄箱を見直し清潔感がでるよう工夫する。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所主催で見学会や介護講習などを開催することで事業所が地域に開放されているイメージを定着させていく。	事業所独自での見学会や介護講習を実施できなかったが、行事の際に近隣住民が参加することがあった。	日常業務もあり開催準備や日程を確保することが難しかった。	地域の方の困りごとや介護について相談しやすい拠点となれるように看板や掲示物を用いて周知を図っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域イベントで介護相談や介護体験などを行い地域の方に事業所を知って頂ける機会をつくる。	地元のお祭りに実行委員として参加し、ご利用者の作品展示を行った。	お祭りでの作品展示を見ていただいた方やご利用者やご家族から好評だった。	お祭りへの参加を継続し、作品展示等で情報を発信していくことで、地域との関わりを深めていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の年間計画を作成する。内容についても事例検討を取り入れるなど見直しをしていく。	運営推進会議の年間計画を作成することができたが、会議内容の見直しができなかった。		会議の議題に応じて専門的な知識を有している方に参加を依頼するなど活発な意見交換ができるように努める。
F. 事業所の防災・災害対策	自治会等から地域の災害時における避難情報を教えていただくなど地域との関係性を築いていきたい。	運営推進会議で災害時訓練の結果報告のみになってしまい、積極的な情報交換が行えなかった。		法人内の他事業所と災害時に連携できる体制を構築していく。

